



園だより

宮崎大学教育学部附属幼稚園
令和5年度 第3号

6月も後半に入りました。今年の梅雨は雨の日も多く、子ども達は、水たまりでの水の感触や、雨の音、雨のにおい、カタツムリなどの生き物と、雨の日ならではのかわりを見つけて楽しんでいます。雨の日は、室内でごっこ遊びやかいたりついたりする遊びなどを楽しみ、晴れ間を見つけて園庭やビオトープに行き、虫捕りをしたりして、季節を感じながらいろいろな遊びを楽しんでいます。今年は、この時期には珍しくインフルエンザの流行があり、心配しましたが、ようやく落ち着いてきました。1学期前半もあとわずかになりました。一人一人の子ども達の健康や安全に気を配りながら、子ども達が遊びを満喫できるようにしていきたいと思います。



【大好きなビオトープで虫捕り】

□ 1年生との交流活動

13日、20日、22日に、附属小学校の1年生が1クラスずつ幼稚園に遊びに来てくれました。1年生と年長児がバディを組んで、園庭を中心に一緒に遊びました。子ども達は、「バディさんだ!」と久しぶりの卒園生(もとバディさん)との再会を喜んだり、初めて出会う1年生とのかわりを楽しんだりしていました。交流することで、1年生にも年長児にも学びがあります。活動最後の感想では、年長児にも1年生にも「楽しかったです」「うれしかったです」の言葉がたくさんありました。今後の交流活動も充実した活動にしたいです。



【一緒に虫捕り】

□ 学校評議員会 1年間どうぞよろしくお願いいたします。

6月15日に附属幼稚園第1回学校評議員会を開催いたしました。今年度の学校評議員さんは、5名の皆様です。(写真左から)



○西池小学校	校 長	衣笠 高広 様
○認定こども園ソレイユ	園 長	中村 浩子 様
○県立看護大学	学 長	長鶴 美沙子 様
○わかたけ同窓会	会 長	久保 眞司 様
○佐藤小児科医院	院 長	佐藤 潤一郎 様

幼稚園の教育や運営について、ご意見をください、幼稚園を支えてくださる大切な皆様です。ご意見をしっかりと生かしていきたいと思っています。

□ 日曜参観 ありがとうございます。

18日(日)は、日曜参観へのご参加いただき、ありがとうございました。学級閉鎖のクラスがあり、今回は、いちご組とばなな組のみの実施でした。短い時間でしたが、保護者の方と過ごしたり、遊びを見ていただいたりして、とてもうれしそうでした。今回は、スクリーンやモニターで日常の遊びやバディさんとのかわりなど見ていただきました。実施できなかったクラスは、7月14日(金)(1学期前半終了の日)に参観日を実施いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。



【懇談会の様子】

□ 開園記念日

6月20日は、附属幼稚園の56歳の誕生日でした。紅白饅頭をお渡ししてお祝いしました。子ども達は、遊戯室に掲示しているパネルでこれまでの附属幼稚園の歩みを見ました。



【パネルを見たよ】

□ プール開き

6月21日にプール開きを行いました。小雨の中でのプール開きとなりましたが、今年もけがや事故なくプールでの水遊びを楽しむことができよう、神事を行い、年長さんがプールに入りました。これから、元気に水と仲よくなり、水遊びを楽しんでほしいと思います。



【安全に水遊びを楽しめますように】

◆お知らせ◆

- ・ 園庭開放や園の行事、活動等については、園のHP(お知らせやブログ)をご覧くださいね!

◆ 大学との連携 ◆

- 宮崎大学教育学部での講義を附属幼稚園の職員も担当しています。

(6月23日 教職入門 7月13日・20日生活科教育法等)

6月23日の教職入門 教員の職務内容とチーム学校運営への対応「就学前教育」では、幼稚園教育の基本や役割、幼稚園での「遊び」や「教師の役割」、小学校との円滑な接続等について講義を行いました。

以下、学生の感想の一部を紹介します。たくさんの大切なことに気付いていて、素晴らしいと感じました。

- ・ 子ども達にとって「遊ぶこと=学ぶこと」だと実感しました。「やりたい」という好奇心からたくさんの発見を得ることが、何よりも大切だと思いました。また、挑戦のあと評価されることは、子ども達の成長への一歩を促すことだと感じたので、私自身も日々の生活の中で、相手が喜ぶ褒め言葉を大切にしたいです。
- ・ 遊びの中にも、考える、友達と道具を貸し合う、友達と見せ合う、褒め合うなどたくさんの要素が含まれていることに気付きました。幼い頃は「楽しいから遊ぶ」という感じだったけど、その遊びの中で様々なことを獲得してきたと思いました。遊びが大切な育ちや学びにつながるということがわかりました。
- ・ 幼児教育で生きる力の基礎を育むという言葉が深く印象に残りました。この幼児期の学びが将来の人格形成や主体性を生み出すということを理解できてよかったです。
- ・ 遊びを通してコミュニケーションを取ることができたり、達成感や自己肯定感を得たり、思考力が高まったり、実は様々な学びがかくれている、そのような学びを重視して子どもと接することのできる先生になりたいと思いました。



◆ 県との連携 ◆

- 宮崎県の幼稚園・保育所・認定こども園等新規採用者研修会も毎年本園で開催しています。

今年度は、6月26日(月)に県内の新規採用の先生方の研修を行い、保育参観の後、分科会で協議を行いました。

- ・ 今回の研修で、子ども達が自由に年齢関係なくのびのびと遊ぶ姿や、年長が年下の子どもの身支度や着替えを手伝う姿がとても印象的でした。子どもには否定的な言葉掛けをするのではなく、肯定的な言葉掛けをすることやあたたかいかかわりをするのが大切だということを学ばせていただきました。今回の研修で得たことを自分自身の今後の保育につなげていきたいと思います。
- ・ 保育参観では、各コーナーで遊びが設けられていて、子どもが出入りできるように動線がしっかり確保されていたので、とても参考になった。常に子どもの視点に立って、子どもの声に耳を傾けて保育をされていた。教室も出入りが自由で異年齢での交流が盛んにおこなえるため、先生や子どもとの距離がとても近いと感じた。子どもが落ち着いて活動が行える雰囲気を常に心掛けながら保育を行っていきたい。
- ・ 保育参観では、特に子どものいきいきした表情や展開される遊びの多さ、それを可能にする環境構成について多くの驚きと学びにつながりました。先生方の声掛けも、ポジティブな声掛けで私もまねしたいと思いました。してほしい行動を伝えるよう意識していきたいと思いました。
- ・ 好きな遊びの中で、友達に自分の気持ちを伝えたり、製作で自分の作りたいもののイメージを伝え実際に作ったり、トラブルが起きたときには周りの子どもも意見を出し合ったりと友達同士で刺激を受け合う姿が印象に残りました。
- ・ 子ども自身で遊びを考えて行動している表情はとても楽しそうで、心から子ども達が笑っていて遊びを楽しんでいるなどと思いました。子ども達と目線を合わせてコミュニケーションをとられていて、子ども達と笑顔で親身になってかかわられていると思い、とても勉強になりました。

